

分類番号	分類項目 (後期基本計画素案)	事 項	意見の概要
I-1-2	教育環境の整備・充実	学校再編	指定校の変更等は、時間をかけた慎重な対応が必要
I-1-2	教育環境の整備・充実	耐震化	Q. 耐震化のための補修、改修工事の現状は？
I-1-2	教育環境の整備・充実	学校給食センターの建設	現施設の老朽化を早急に解消
I-1-2	教育環境の整備・充実	学校整備	勝間小学校の駐車場整備
I-2-2	生涯学習の推進	団塊世代の人材の活用	地域力の向上に繋げるための団塊世代の活用。
I-2-3	文化・芸術活動の振興	文化財の調査、点検	
II-1-1	市民活動の促進	地域の輪、人の和の大切さ	地域の結びつきの強化により地域課題の解決を
II-1-1	市民活動の促進	地域力の向上	行政と地域住民との意識の共有化および協働の観点から、地域連合自治会の設立が必要
III-2-1	子育て支援の充実	きめ細かな子育て支援	地域が主体的に実施している子育てサロンへの助成
III-3-2	地域医療の充実	医療体制の整備	医師数、病床数が県下最低水準である熊毛地区の医療体制の改善、整備
IV-1-3	災害に強いまちづくり推進	地域防災体制の整備・充実	行政と地域住民が協働し、地域防災組織の確立
V-1-2	循環型社会の実現	汚水処理施設の整備	合併処理浄化槽の整備・普及の推進と、下水道施設供用地区との公平性の考慮
V-2-1	水道水の安定供給	LP 快適な水道基盤整備事業	進捗状況の情報公開と早期実現への取組み
V-2-1	水道水の安定供給	LP 水問題	Q. 水道事業計画の進捗状況は？
VI-1-2	道路の整備	LP 幹線道路網整備事業	国道2号線4車線化。歩道の設置、拡張工事。関係部署との関係強化と市民への情報提供。
VI-1-2	道路の整備	幹線道路網整備事業	高水笠野線(1期、2期)の新設 本町中村線の新設
VI-1-4	交通体系の充実	LP 公共交通機関の拡充整備	高齢化も進むなか、乗合タクシーも含めた真剣な取組を
VI-1-4	交通体系の充実	福祉バスの実現	特に八代地区では緊急課題。福祉バスの実現を。
VI-1-4	交通体系の充実		小回りの出来る交通手段の検討

分類番号	分類項目 (後期基本計画素案)	事 項	意見の概要
VI-1-4	交通体系の充実	熊毛地区の交通網	高齢化が進む自家用車の所有者に対する施策
VI-1-4	交通体系の充実	玄関としての熊毛ICの活用	路線バスを熊毛IC経由として近隣地域から人を集め、賑わいを創出。
VI-1-4	交通体系の充実	LP 生活交通の確保	新たな交通システムの検討、早い時期の運行
VI-2-1	緑の空間の創造	高水近隣公園	里山再生の試験的公園に。里山再生で地域に活気を。
VI-2-2	快適な居住環境の整備	廃屋の安全対策	勝間駅近隣の空き家が危険
VII-1-1	農業の振興	道の駅	「道の駅」にこだわらず、「滞在型農産物直売所」の建設を
VII-1-1	農業の振興	道の駅	東部道の駅実現に向けた行動指針の実行
VII-1-1	農業の振興	道の駅	街の活性化に繋げるための道の駅整備
VII-1-1	農業の振興	道の駅	場所の検討
VII-1-1	農業の振興	休耕田の有効活用	団塊世代に力を貸してもらう。
VII-1-4	商業の振興	生活しやすい環境の維持	商店街を減らさず守る取組み
VII-2-1	観光の振興	地域の資源、宝を見直す	自分たちの自慢の物で、地域の人を喜ばせる。 知識を知恵に変換
その他		熊毛地区の将来像	「快適に暮らせるまちくまげ」を熊毛地区の将来像とし、「ゆめプラザ熊毛」を地域の核とした利便性の高いスモールタウンとして整備。
その他		地域自治区	自己決定と自己責任の原則の実現、住民自治の重視
その他			勝間駅前の待合室兼トイレの時計修理
その他		公民館の運営	外壁の手入れ等・・・生涯現役活動への支援の観点から
その他		高水駅の活用	地域の人に使ってもらえる「たまり場駅」に
その他		地域拠点施設の利活用	
その他		住居表示	地名は自治会住民の意見を反映させ、愛着あるまちづくりを
その他		新市建設計画	未着手事業の再検討